

「群馬県支部会報」

概要

「第9回見学会及び講演会」

◆実施日：2023年10月17日（火）

◆実施場所：桐生市

◆内 容：

1. 見学会 10:00～13:00

桐生商工会議所 → 「MAYU(まゆ)」試乗 → 「GUDブロック」視察
→ 重要伝統的建造物群保存地区等 → (昼食) → 桐生商工会議所

2. 講演会 13:30～15:30

・演題1: 木のゴミで世界を救う

・講 師: 板橋 英之 様 (群馬大学副学長・理工学府教授)

・要 旨: 間伐材チップを内包したモルタルブロックで二酸化炭素を削減する大学発ベンチャーのプロジェクトを紹介した。

・演題2: 地域の課題とスローモビリティを使った課題解決の取り組み

・講 師: 天谷 賢児 様

(群馬大学理工学府教授・次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長)

・要 旨: スローモビリティを交通不便地域に導入し、バスの中で会話が生まれコミュニティが強くなることを紹介した。また、持続的運行に向けた課題も議論した。

ごあいさつ



「挨拶」 群馬県支部長 山本



講演の様様

講演1

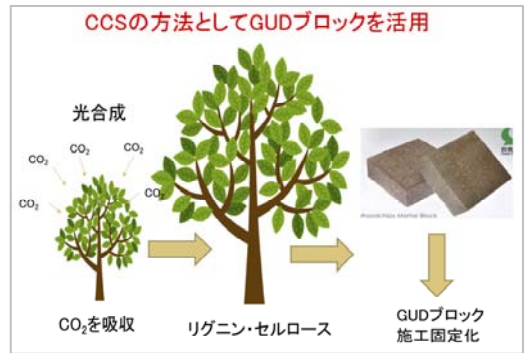
「木のゴミで世界を救う」

講師：板橋 英之 様

[群馬大学副学長・理工学府教授]



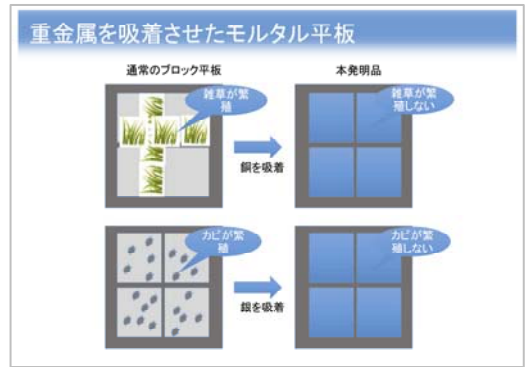
■ GUD ブロック



■ CCSとの関係



■ 作製方法



■ 重金属を吸着できるブロック



■ 事例

■ 株式会社グッドアイ

講演2

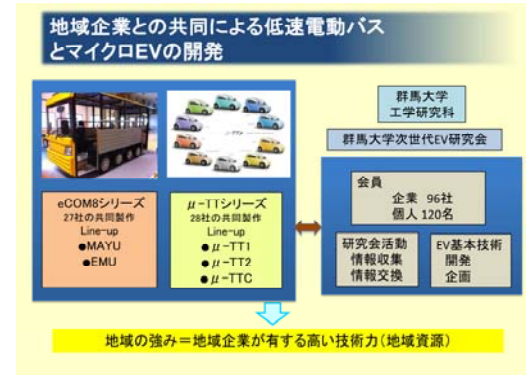
「地域の課題とスローモビリティを使った課題解決の取り組み」

講師：天谷 賢見 様

[群馬大学理工学府教授
次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長]



■地域の課題とスローモビリティ



■地域企業との共同開発

低速電動バスの特徴

1. 最高時速 19km/h
2. バス側面の窓がなく、周囲環境との一体化が感じられる
3. 対面式のベンチタイプの座席で車内での会話がしやすい
4. インホイールモーターを用いることで低床として、高齢者でも乗りやすい
5. 100Vの家庭用電源で充電が可能
6. 交換式のバッテリー

交換式バッテリー

■低速電動バスとは

井戸端会議の機能

井戸端会議:
コミュニティ内の情報の共有や人と人の繋がりを維持する仕組み

スローモビリティが、コミュニティの井戸端会議のような機能を提供している

■井戸端会議のような...

コミュニティ自身が関与できる交通の重要性

低速であるために安全な運行が可能

住民が運行を担う試み

- > 地域の共有物としてスローモビリティを活用
- > 域全体での合意形成が必要
- > 持続性のある仕組みづくりが重要

住民向け運転講習会

価値合理的
これからの生活交通
= 皆で楽しく・環境にやさしい移動

価値観の転換

目的合理的
これまでの公共交通
= 速く・遠くへ・多くの人を効率的に輸送

■コミュニティとしての交通

重伝建コース

■土日運行されるコースの1つ
資料:「桐生再生 ちらし」



■MAYUに乗り込む



■狭い路地も走る



■GUDブロックが敷設されたスペース



■シルクル桐生(群銀前)にて、乗ってきたMAYU2台



■桐生再生にて説明を受ける



■四辻の齋嘉にて説明を受ける

感想

群馬支部では、久しぶりの対面企画なんです。

午前、スローモビリティ「MAYU(まゆ)」で市内を巡り、群馬大学のベンチャー企業である株式会社グッドアイが開発した「GUDブロック」を視察しました。午後は、板橋教授と天谷教授から見学内容の講演をいただきました。

群馬大学は、スタンフォード大学?!のように資金を集めて頑張っているとか?! ご両名と地域の方々が協力して取り組み、社会実装されていることに感心しました。

私は、地域公共交通計画に携わっているため「どうかな?」と思いながら参加したのですが、MAYUに乗り、快適な風を感じながら桐生の街並みを走るのは観光客にグッドです!

(広報委員長 小池)